

「海老名市保護者負担経費の在り方について」 【報告書】

平成 30 年 9 月 21 日

海老名市保護者負担経費検討委員会

「海老名市保護者負担経費の在り方について」 報告書

目次

はじめに	1
1 海老名市保護者負担経費検討委員会について	
1-1 検討委員会の目的	2
1-2 検討委員会の構成	2
1-3 検討の経過	2
2 海老名市保護者負担経費に係る現状と課題	
2-1 保護者が負担している主な経費	5
2-2 保護者負担経費検討に係るアンケート調査結果	8
2-3 保護者負担経費に係る課題	10
3 海老名市保護者負担経費の在り方についての提言	
3-1 制服について	11
3-2 ジャージ服（上下）について	11
3-3 上履き（兼体育館履き）について	11
3-4 運動用Ｔシャツ・短パン・ワイシャツ・ホﾟロシャツについて	11
3-5 修学旅行について	12
3-6 教材について	12
3-7 卒業アルバムについて	12
3-8 学校からの保護者説明について	12
3-9 公的支援について	12
3-10 その他	12
おわりに	13

はじめに

子どもたちの学校生活の中では、教材費や通学用服(制服)、修学旅行費など、さまざまな経費を保護者が負担している。経費負担の現状として、例えば市立中学校の制服等の負担額においては、「多くの保護者が割高感・負担感を持っている」、「学校間で金額に差がある」などの実態がある。また、制服に限らず、保護者が経費を負担する製品や金額の決定プロセスで、透明性の確保に課題があることも指摘されているところであるが、これまで公の場でそれらに関する議論はなされずにいた。

このため、海老名市保護者負担経費検討委員会では、平成 29 年 7 月から平成 30 年 8 月まで、海老名市立小中学校における保護者負担経費の在り方について、「公平性を確保すること」、「保護者への説明責任を確実に果たすこと」を基本的な考え方として、協議・検討を進めてきた。

本報告書は、市内小中学校を対象に保護者が負担する制服、ジャージ服、上履き、修学旅行などの必要経費について幅広く調査し、海老名市の保護者負担経費の実態を把握したうえで、「制服」「ジャージ服(上下)」「上履き(兼体育館履き)」「運動用Tシャツ等」「修学旅行」「教材」「卒業アルバム」等や「学校からの保護者説明」「公的支援」について、検討委員会で検討・協議した結果を提言としてまとめたものである。

今後は、報告書に示した提言について、その周知や説明を十分に行っていき、学校・家庭・行政で連携した取組を行うことによって、保護者負担経費の適正化に積極的な推進を望むものである。

【参 考】

平成 30 年 3 月の文部科学省通知「学校における通学用服等の学用品等の適正な取扱いについて」では、「保護者の経済的負担軽減に係る留意事項」の中で「教育委員会は、保護者等ができる限り安価で良質な学用品等を購入できるよう所管の学校における取組を促すとともに、各学校における取組内容の把握に努めること。」としている。また、「通学用服の選定等に当たっての留意事項」の中では「学校における通学用服の選定や見直しについては、教育委員会は、所管の学校において通学用服の選定や見直しが適切に行われるよう、必要に応じて指導を行うこと。」としている。

海老名市保護者負担経費検討委員会 について

1-1 検討委員会の目的

海老名市立小中学校における学用品の購入等に係る保護者負担経費について調査し、その在り方について検討・協議し、保護者負担軽減の方策を探るとともに、海老名市としての今後の方向性を定める。

1-2 検討委員会の構成

本検討委員会の構成員は次の 13 名である。

委員長	海老名市教育部長	岡田 尚子
副委員長	海老名市立小学校長会代表	秋山 範子
委員	海老名市立小学校単位 PTA 会長会代表	市川 弘秋
	海老名市立小学校保護者代表	中村 賀子
	海老名市立小学校保護者代表	瀧井 由美
	海老名市立中学校保護者代表	吉崎 真美
	海老名市立中学校保護者代表	塩見 紀子
	海老名市立中学校長会代表	飛矢崎 義基
	海老名市立小学校教頭会代表	宮原 秀子
	海老名市立中学校総括教諭代表	竹島 和也
	海老名市教育委員会教育部次長	金指 太一郎
	海老名市教育委員会教育部次長	小宮 洋子
	海老名市教育委員会就学支援課長	小林 丈記
	(平成 29 年度就学支援課長)	(奥泉 憲)
事務局	海老名市教育委員会就学支援課	

1-3 検討の経過

本検討委員会は平成 29 年 7 月 27 日に発足し、計 8 回にわたって次の内容について協議を行った。

【第 1 回会議】平成 29 年 7 月 27 日（木）18 時 00 分～19 時 30 分

海老名市役所 705 会議室

○事務局による説明と確認

- ・検討委員会概要
- ・保護者負担経費の現状
- ・保護者の持つ負担感について

- ・保護者アンケートの実施について
- 保護者負担経費についての自由協議

【第2回会議】平成29年10月6日（金）15時00分～17時05分

海老名市役所 705 会議室

- 保護者アンケートの結果について事務局より説明
- ・小学校アンケート結果報告
 - ・中学校アンケート結果報告
- アンケート結果について委員から意見聴取
- 保護者負担軽減策の方策検討

【第3回会議】平成29年11月27日（月）15時00分～17時00分

海老名市役所 705 会議室

- 彫刻刀と柔道着について
- ・彫刻刀及び柔道着を市費で購入し、学校管理物品として児童生徒に貸与することで保護者負担の軽減を図る。彫刻刀は全小・中学校へ、柔道着は全中学校へ一定数を配備する。
- 制服について
- ・学校間の価格差を減らすことについて検討
- ジャージ服、運動着、上履きについて
- ・現状と今後の方向性を検討

【第4回会議】平成30年2月5日（木）15時30分～17時00分

海老名市役所 705 会議室

- 公正取引委員会の公立中学校における制服の取引実態に関する調査報告書について
- 近隣市の状況及び海老名市との比較について
- 中学校制服・ジャージ服等に関する保護者負担軽減策について
- ・公正取引委員会の提言を踏まえて、以下の4つの軽減策についてのメリット、デメリット等を説明
- ① コンペ・入札・見積もり合わせの実施
 - ② 取扱店の拡大
 - ③ デザイン・仕様の統一
 - ④ 基本仕様を学校で指定し、基本仕様に沿うものを保護者が自由に購入する。

【第5回会議】平成30年3月27日（火）15時30分～17時00分

えびなこどもセンター 201 会議室

- 中学校制服・ジャージ服等に関する保護者負担軽減策について（事務局による概要等説明）

- ・市教委にて、仕様書の作成と制服等の販売店や価格についてホームページで公開を行う。
- ・制服とジャージ服の議論をするうえで、前提としてはデザインの変更は行わない。(変更を禁止するものではなく市教委としてデザインの変更を指示することはしない。)

◆制服・ジャージ服について

- ・コンペ実施、取扱店、販売店の拡大を案とし、実施の際の流れやメリット、デメリットについて説明

◆運動用Tシャツ・短パン・ワイシャツ・ポロシャツについて

- ・仕様を定めた上での自由化が望ましい旨の説明

◆上履き（兼体育館履き）

- ・一定の機能性の確保及び家庭の経済状況による格差を配慮し、各校毎で統一のものの使用が望ましく、さらにコンペ実施による決定が望ましい旨の説明

○修学旅行の現状と保護者負担軽減策について

(事務局による概要等説明)

- ・市内中学校の行先、金額、決定のプロセス、平成 29 年 8 月に実施した保護者アンケートの修学旅行に関する意見を紹介

【第 6 回会議】平成 30 年 5 月 22 日（火）15 時 30 分～17 時 00 分

えびなこどもセンター 201 会議室

○制服・ジャージ服等の今後の方向性について（前回のまとめ）

○モデル校でのコンペ実施について

- ・今年度に先行モデルとして、1 校でコンペを実施することで、
 - ① 保護者負担軽減の効果を図る。
 - ② コンペ実施のノウハウを蓄積させ効率的に実施できるようにする。
- ・コンペ実施校：海老名中学校
- ・コンペ対象：【ジャージ服（上・下）】、【上履き（兼体育館履き）】

○修学旅行の課題と保護者負担軽減策について

(事務局にて概要等説明)

- ・修学旅行の課題について、保護者アンケートの意見も紹介しながら提示
- ・保護者負担軽減策の現状と新たな軽減策について説明

【第 7 回会議】平成 30 年 7 月 25 日（水）15 時 30 分～17 時 00 分

えびなこどもセンター 301 会議室

○「海老名市保護者負担経費の在り方についての提言」（案）について

【第 8 回会議】平成 30 年 8 月 30 日（木）15 時 30 分～17 時 00 分

えびなこどもセンター 301 会議室

○「海老名市保護者負担経費の在り方について」報告書【案】について

2

海老名市保護者負担経費に係る現状と課題

2-1 保護者が負担している主な経費

市教育委員会では、学校別の制服やジャージ服等の価格、制服・運動着・上履き等の比較、教材費の学校別平均額、修学旅行に係る経費、卒業アルバム代、新入生にかかる物品を調査し、平成 29 年度の第 1 回総合教育会議で提示した。

(平成 28 年度の数値)

○学校別制服、ジャージ服等

単位：円

	海老名中学校				有馬中学校				海西中学校	
販売店	オヤマ・ミチル		クラスルーム ※		オヤマ・ミチル		クラスルーム ※		オヤマ・ミチル	
男女別	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
制 服	57,150	59,202	51,520	44,370	56,852	52,424	43,782	43,458	61,992	61,631
ジャージ服等	18,036				18,144	17,604	18,144	17,604	18,468	
合 計	75,186	77,238	69,556	62,406	74,996	70,028	61,926	61,062	80,460	80,099

	柏ヶ谷中学校		大谷中学校				今泉中学校	
販売店	オヤマ・ミチルほか 5 店		オヤマ・ミチル		クラスルーム ※		オヤマ・ミチル	
男女別	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
制 服	58,526	62,258	53,626	52,105	36,010	36,014	57,564	60,588
ジャージ服等	16,092		17,550				17,280	
合 計	74,618	78,350	71,176	69,655	53,560	53,564	74,844	77,868

※クラスルームのスボンはオールシーズンタイプのため 1 本で、その他のスボンは夏冬用 2 本で計上。

○制服・運動着・上履き等（比較）

単位：円

		制 服	ジャージ服等	合 計
平 均	男子	53,002	17,595	70,597
	女子	52,450	17,505	69,955
最高額	男子	61,992 (海西中学校)	18,468 (海西中学校)	80,460 (海西中学校)
	女子	62,258 (柏ヶ谷中学校)	18,468 (海西中学校)	80,099 (海西中学校)
最低額	男子	36,010 (大谷中学校)	16,092 (柏ヶ谷中学校)	53,560 (大谷中学校)
	女子	36,014 (大谷中学校)	16,092 (柏ヶ谷中学校)	53,564 (大谷中学校)

○教材費（学校別平均額）※

単位：円

学校名	金 額	学校名	金 額	学校名	金 額
海老名小学校	9,144	門沢橋小学校	9,347	海老名中学校	17,973
柏ヶ谷小学校	8,970	東柏ヶ谷小学校	8,945	有馬中学校	15,569
有鹿小学校	9,742	社家小学校	8,641	海西中学校	18,394
有馬小学校	9,337	杉久保小学校	9,193	柏ヶ谷中学校	14,763
大谷小学校	8,823	今泉小学校	9,551	大谷中学校	13,933
上星小学校	8,523	杉本小学校	9,936	今泉中学校	16,922
中新田小学校	8,502				

○教材費（学年別平均額）※

単位：円

小学校		中学校	
学年	金 額	学年	金 額
1 年	9,920	1 年	16,078
2 年	6,925	2 年	14,568
3 年	9,059	3 年	17,502
4 年	8,918		
5 年	9,584		
6 年	10,358		

※教材費：1年生の児童生徒については、小学校 10,000 円、中学校 17,000 円を市より援助している。

○修学旅行（小学校：行先は全小学校で日光）

単位：円

学校名	金 額	学校名	金 額
海老名小学校	20,072	門沢橋小学校	23,670
柏ヶ谷小学校	19,653	東柏ヶ谷小学校	18,958
有鹿小学校	20,667	社家小学校	20,400
有馬小学校	21,713	杉久保小学校	21,810
大谷小学校	21,167	今泉小学校	20,870
上星小学校	22,120	杉本小学校	21,330
中新田小学校	20,256		

○修学旅行（中学校）

単位：円

学校名	金 額	行先
海老名中学校	54,440	京都・奈良
有馬中学校	54,465	神戸・淡路島・京都
海西中学校	53,998	石川
柏ヶ谷中学校	55,700	広島
大谷中学校	50,837	京都・滋賀
今泉中学校	55,871	京都・滋賀

○卒業アルバム（小学校）

単位：円

学校名	金 額	3 月の 児童数	学校名	金 額	3 月の 児童数
海老名小学校	6,700	133	門沢橋小学校	7,900	88
柏ヶ谷小学校	7,600	78	東柏ヶ谷小学校	7,600	107
有鹿小学校	7,000	95	社家小学校	8,900	61
有馬小学校	8,000	64	杉久保小学校	7,400	101
大谷小学校	7,000	107	今泉小学校	6,900	99
上星小学校	7,400	92	杉本小学校	7,200	121
中新田小学校	7,400	82			

○卒業アルバム（中学校） 単位：円

学校名	金 額	3 月の 生徒数
海老名中学校	6,500	174
有馬中学校	5,900	217
海西中学校	6,500	185
柏ヶ谷中学校	5,500	247
大谷中学校	5,500	199
今泉中学校	6,048	188

○新入生にかかる物品（小学校 1 年生）

単位：円

購入物品	金 額	購入物品	金 額
ランドセル	20,000～50,000 程度	体操着・上履き	3,000
教材費	9,920	防災ずきん	2,000
遠足（校外活動費）	2,117	白衣セット	1,000
鍵盤ハーモニカ	4,000	給食費	42,300
絵具セット	4,500	合計	88,837～118,837 程度

○新入生にかかる物品（中学校 1 年生）

単位：円

購入物品	金 額	購入物品	金 額
制服	36,000～62,000 程度	リコーダー （アルト）	3,000
ジャージ服等	18,000	遠足（校外活動費）	1,932
教材費	16,708	ミルク給食費	5,200
柔道着	5,000	合計	85,840～111,840

2-2 保護者負担経費検討に係るアンケート調査結果

保護者の生の声を聴き、検討委員会での議論および今後の方向性に反映させるため、アンケートを行った。

《調査実施日》 平成 29 年 8 月 25 日～9 月 10 日

《調査対象》 海老名市立小・中学校に通う児童・生徒の保護者で、学校メールの登録のある方 11,439 名

《回答者数・回答率》

回答者数 1,481 名（小学校：1,055 名・中学校：426 名）

回答率 12.9% （小学校：13.6%・中学校：11.6%）

1 アンケート結果

（1）負担をどう感じたか。

小学校では入学準備、運動着等、中学校ではジャージ服等、修学旅行、教材費で負担を感じている割合が高い。

	小学校		中学校	
	感じた	感じない	感じた	感じない
教材費	44%	34%	49%	26%
新入学準備	51%	23%	63%	18%
ジャージ服等	50%	10%	76%	10%
修学旅行	48%	17%	63%	13%
卒業アルバム	32%	29%	36%	36%

（2）見直し（検討）等を行うことをどう考えるか。

制服、ジャージ服等、技能実技教材(柔道着・彫刻刀等)で、価格抑制を目的とした見直し・検討を必要と感じる割合が高い。

	小学校		中学校	
	賛成	反対	賛成	反対
技能実技教材	77%	5%	74%	7%
制服	84%	2%	80%	4%
ジャージ服等	80%	2%	81%	2%
修学旅行	60%	8%	66%	4%
卒業アルバム	58%	6%	56%	8%

※「感じた」・「賛成」には、どちらかといえば「感じた」・「賛成」を、
「感じない」・「反対」には、どちらかといえば「感じない」・「反対」を含む

（3）制服の適正と思う価格について

50,000 円未満が適正と感じる保護者が小学校で 67%、中学校で 65%となった。

	50,000 円未満	60,000 円未満	70,000 円未満	70,000 円以上
小学校	67%	25%	5%	3%
中学校	65%	25%	4%	6%

2 アンケートに寄せられた意見（意見の多かったもの）

【制服】

- ・制服が高いと感じる（１７５件）
- ・ポロシャツ等の指定をやめて、ある程度自由に選べるようになるとよい（４６件）
- ・リサイクルの充実を希望（２１件）
- ・中学校の制服自体には賛成（３４件）
- ・中学校の制服自体必要ない（９件）

【ジャージ服、運動着、上履き】

- ・高い、複数枚購入は負担、価格の見直しを希望（１８２件）
- ・選択肢があるとよい、市販の代用品を認めてほしい、ジャージ服は指定でよいが、運動着や上履きは小学校のように自由でよい（７７件）
- ・学年カラー、名前等の刺繍をやめてほしい（４８件）
- ・デザイン、生地、機能性、質など見直しを希望（３９件）

【修学旅行】

- ・中学校の民泊（農業体験）に反対、民泊は不安（１５７件）
- ・内容に見合っているならよい、質や安全性を下げるくらいなら今のままでよい（１２４件）
- ・金額が高いと感じる、民泊なのに高い（７４件）

【教材費】

- ・柔道着は学校で用意するか、レンタル希望、購入に不満（８３件）
- ・彫刻刀を学校の備品として対応してほしい、購入に不満（６１件）
- ・使用頻度の低いものや、学校でしか使わないものは学校で用意してほしい（７１件）
- ・絵具や裁縫道具は、費用負担し、個人の所有とすべき（３８件）

【自由な意見】

- ・保護者負担が減ることはありがたい、負担が軽減されれば他にまわすことができる（４０件）
- ・使い道が透明化されれば負担も納得できる、負担に感じない（３４件）
- ・適正な競争により価格が抑制されることを望む、競争で質の向上をしてほしい（２１件）
- ・年間のスケジュールや集金額をあらかじめ知らせてほしい（１４件）

2-3 保護者負担経費に係る課題

アンケート調査等から、次のような課題があることがわかった。

◆制服について

- ・割高感や負担感がある。
- ・限られた業者でしか買えず、価格の高止まり（業者間での価格競争が生じていないこと）に対する懸念がある。
- ・入学前に保護者が情報を入手できることが求められる。

◆ジャージ服、上履き、運動着等について

- ・価格が高いため、価格競争をさせるといった努力・工夫が求められる。
- ・市内統一のものにすることや、学年カラーや名前の刺繍を廃止することが求められる。
- ・指定ではなく、市販の代用品を認めることが求められる。

◆修学旅行について

- ・費用が高く負担感がある。
- ・価格に見合った体験ができているか整理する必要がある。
（民泊先で同一の体験が出来ない等の不平等感がある。）
- ・修学旅行の形態（民泊・農業体験等の意義）について整理する必要がある。
- ・アレルギーや障害のある児童・生徒への対応に対して配慮が求められる。
- ・安全面での配慮（旅行先での事故や怪我の対応）が求められる。
- ・保護者への説明の機会を確保することが求められる。
- ・教育課程における位置づけを整理する必要がある。

◆教材について

- ・指定ではなく、市販の代用品を認めることが求められる。
- ・使用頻度の低いものや、学校でしか使わないもの、将来的に不要と思われるものについて整理が必要がある。
- ・シンプルなものに統一することで価格を抑えることが求められる。

◆卒業アルバムについて

- ・簡素化して価格を抑えることが求められる。
- ・アルバム作成過程の見直しをする。
- ・競争性を持たせることが求められる。

海老名市保護者負担経費の在り方についての提言

本検討委員会では、前述の課題に対して様々な資料をもとに協議し、保護者負担経費の在り方について検討した。その結果として次のとおり提言する。

基本的に目指すものは、保護者負担の軽減を図ることであり、公平性、透明性、競争性、経済性を確保した中で、適切な運用をするため、各項目について提言する。

3-1 制服について

- ◆各校の仕様書を作成し、業者に広く周知することによって、取扱店・販売店の拡大を図り、保護者負担を軽減する。
- ◆市ホームページに各校の制服・ジャージ服の販売店・価格等を公開することで、入学以前から保護者が情報を入手できるようにする。
- ◆仕様等を変更する場合は、生地について、現状では、各校とも生地から特注するために価格が上昇している面があることから、汎用性があり流通している生地を使用する。
- ◆制服のリユースの方法について検討する。

3-2 ジャージ服（上下）について

- ◆各校で選定委員会を組織し、仕様書を作成したうえでコンペを行う。
- ◆決定業者との契約期間は3年～6年を目安とする。
- ◆ジャージ服のカラー分けについては、各校で必要性の議論を行う。
- ◆ジャージ服（ハーフパンツ）についても、ジャージ服（下）との関連でコンペを行う。

3-3 上履き（兼体育館履き）について

- ◆各校で選定委員会を組織し、仕様書を作成したうえでコンペ等を行う。
- ◆決定事業者との契約期間は3年～6年を目安とする。

3-4 運動用 Tシャツ・短パン・ワイシャツ・ホﾟロシャツについて

- ◆仕様を定めた上での自由化が望ましい。
- ◆既に実施している学校もあるが、全ての学校が平成31年度からの実施が望ましい。
- ◆学校で指定していないものについても、販売店で推奨品としていることもあるため、学校から保護者に対し、基本仕様に沿ったものであれば販売店以外でも自由に関えることを周知する必要がある。

3-5 修学旅行について

- ◆決定した内容は、保護者に実施の趣旨を正しく理解してもらえるよう、充分周知して、説明責任を果たしていく。
- ◆保護者や児童・生徒の意見を聞くことを検討する。
- ◆複数の旅行会社によるプレゼンテーションや見積合わせを実施する際には、上限金額は伝えないことを検討する。
- ◆様々な課題があるため、今後の方向性については別途検討会を立ち上げて検討することも考える。

3-6 教材について

- ◆学校で指定していないものについても、販売店で推奨品としていることもあるため、学校から保護者に対し、基本仕様に沿ったものであれば、販売店以外でも自由に買えることを周知する必要がある。

3-7 卒業アルバムについて

- ◆選定委員会で検討のうえ、学校ごとのコンペ等の実施を検討する。

3-8 学校からの保護者説明について

- ◆入学時に、小学校は6年間、中学校は3年間で必要な経費及びスケジュールについて、学校から保護者へ説明する。また、年度当初の4月に、各学年の1年間のスケジュールについて学校から保護者へ説明する。

3-9 公的支援について

- ◆市内小中学校の授業で使用する彫刻刀と柔道着について、彫刻刀は全小・中学校へ、柔道着は全中学校へ一定数を配備し無償貸与しているが、今後も、毎年活用するもので使用頻度の低い教材等については、無償貸与することを検討する。

3-10 その他

- ◆ジャージ服、上履き、教材等について、モデル校で実施しているコンペや選定委員会での先行的な取り組みを参考にし、学校が日常で使用している様々なものについて、コンペ等で決めていくことを検討する。併せて、条件を設定のうえ、市販品も可とするなど、一定の自由度を持たせる方法も検討する。
- ◆ジャージ服（上下）等の選定にあたっては、必要に応じて選定委員会を開催し、選定委員会の委員に第三者（学校運営協議会委員、保護者等）を入れて選定する。
- ◆コンペ等、取り組みの実施後は、各校及び市教育委員会において効果検証を実施し、軽減効果が図られない場合は他の方策を検討する。
- ◆各校が自主的、継続的に見直しを講じられるよう、市教育委員会として、全校の状況が分かる資料を作成して公開したり、他市の動向に関する情報を提供したりする。
- ◆市教育委員会は、選定にあたって公平性・透明性の確保に努める。

おわりに

保護者負担経費の在り方については、様々な意見があり、問題意識は高まっているところである。現場の教員や保護者の方に関心を持ってもらうことも課題となっている。

また、本提言の内容は、今後の状況により適宜見直していく必要がある。状況を注視し、様々な意見を取り入れながら適正な時期に見直しを行い、より良い取組となるよう期待するところである。



【お問合せ先】

海老名市教育委員会就学支援課